

明けましておめでとうございます。



明けましておめでとうございます。高瀬の町のシンボルとして、平成17年4月にオープンしました高瀬蔵も今年の4月には丸三年を迎えます。この間、片山理事長をはじめボランティアでご協力いただいた理事・会員の皆様方のご努力により、多目的ホールの自主事業と貸ホール事業の企画・運営に積極的に取組まれ、市民のニーズをつかんだ幅広い様々な行事を取り込み、市民のイベントホールとして満足できる活動を続けてこられました。また、対外的にも玉名市及び高瀬の町を大きくアピールできたものと心よりの敬意を表するものであります。一昨年6月には、このような地道な活動が認められ「まちづくり功労者」として国土交通大臣賞を受賞しました事も特筆すべきものであり、益々の団結が深まり、その後の活動にも大きな励みとなった事でありましょう。そのような中、片山理事長が昨年12月末をもって理事長を退任され、私が後任理事長として高瀬蔵の運営を受け継ぐ事となりました。昨年11月には「高瀬まちづくり協議会」も設立され、高瀬まちなみ修景計画も県土木部・玉名市・建築士会あらたま支部のご支援、ご指導を受けながら実行に取り掛かる準備が着々と進んでおります。今後は高瀬蔵のみならず、高瀬裏川の景観と一体化した町並みづくりを目指し、理事・会員一同一致団結して取組んでいきます事をお約束して新年のご挨拶といたします。



理事長 猿渡洋悟



明けましておめでとうございます。会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。高瀬蔵は、開館以来やがて4年目を迎えようとしています。その間、NPO法人高瀬蔵の企画運営委員会を中心に試行錯誤を繰り返しながら運営に努めて参りました。貸しホール事業もなんとか軌道に乗り、多方面に利用されるようになりました。特にリピーターが多いのが何よりです。お陰様で認知度も高まり、見学者も多くなっています。この度、私は平成19年末をもってNPO法人高瀬蔵理事長を退任いたしました。発足より3年10ヶ月でしたが、何も分からない私を回りの皆様のご支援、ご協力により無事任務を終えることができ心より感謝申し上げます。今後も微力ながら、お手伝いをして行くつもりです。高瀬蔵の益々の発展を祈念致しますとともに皆様の変わらないご支援をお願い申し上げます。

初代理事長 片山敬子

開館三年目となった昨年も様々なイベントで賑わいました。



二周年記念イベント「蔵まつり」



高瀬夜囃



高校生デパート「若蔵」

その他も多くの自主イベントが開催され、たくさんのお客様にご来館いただきました。

ワインのタベ*



秋の夜長は・・・

高瀬蔵恒例「ミュージックとワインのタベ」
11月24日(土)高瀬蔵ホールはやわらかい
ローソクの灯りの中、“クロマティック ノ
ート”の軽快でおしゃれな演奏を聴きなが
ら、ワインを楽しむカップル(?)で一杯
でした。スタッフ手づくりのおつまみ(ク
ラッカーのカナッペ、チーズ、人参サラダ
とみょうがの甘酢漬け)も好評でした。

(商店会イベント部会)

高瀬蔵ガラクタ市



12月2日(土)、高瀬蔵ガラクタ市が開催
されました。会員それぞれが持ち寄ったト
ランペットや自転車、10円本や古着などが
人気でした。昭和に帰ったように、両手一
杯にお買物されるお客様が見受けられ、そ
れぞれに楽しんでいらっしやいました。甘
味処のぜんざいもスタッフみんなの味見の
おかげでおいしい!とおお客様の休憩に一役
買っていたようです。

(商店会イベント部会)

高瀬まちづくり協議会が発会

11月21日(水)、高瀬蔵多目的ホールにおいて、高瀬地区の魅力と活力を高め、まちづくりを進めていく組織「高瀬まちづくり協議会」の発会式が行なわれました。協議会は、高瀬地区の5商店会、玉名町1区から12区及び秋丸区、高瀬裏川筋を愛する会、熊本県建築士会あらたま支部、崇城大学秋元サテライト研究室及びNPO法人高瀬蔵で構成され、オブザーバーとして、玉名地域振興局の景観建築課、総務振興課、玉名市の都市計画課・商工観光課・政策推進課、玉名商工会議所、玉名市商店会連盟が参加しました。



高瀬まちづくり協議会発会式懇親会の模様

開会に先立ち発起人を代表して、高瀬商店会の矢田部会長より「今後の高瀬地区のまちづくりにおいては、地域に関わる方々や関係団体とも協力しながら共に考え、まちづくりを進めていきたい。」と挨拶がありました。

本年度の事業としては、高瀬まちなみ修景計画に取り組み、来年度以降は、高瀬地区の町並みの景観形成に向けての住民合意を目指し、高瀬でのイベント等についても共同して開催することで合意しました。

(まちづくり推進部会)

高瀬 マイスター 倶楽部

10月21日(日)及び12月8日(土)の両日、菓子職人の山寄講師による、お菓子づくり体験講座が実施されました。10月21日のメニューはおはぎの作り方、12月8日はクリスマスケーキの作り方。両日とも季節感を存分に味わう事ができる講座の内容となりました。講座はレシピによる説明と山寄さんの実演及び、ユーモアのあるトークそして実体験を通してお菓子作りの楽しさとヒントを参加者は学びました。

そして、プロの技で出来上がったお菓子里に早速舌鼓をうち、その美味しさを堪能していました。

参加者からは「とても勉強になり楽しいひとときを過ごす事ができました。」「始めて蔵に来て、お菓子の講座に参加しましたが、とても楽しく勉強になりました。」などの感想が出て、蔵は両日とも賑わいをみせていました。



クリスマスケーキ講座の様



第6夜「私のバイオリン遍歴」

9月22日(日)、今年度最初となる和ろうそく作りが行われました。

当日は天候にも恵まれ、参加者は楽しそうにろうそく作りを体験されていました。

参加者のなかには、「はげの実の皮が、和ろうそくの原料になるとは思ってもみなかった。」「ろうそく作りは楽しいし、香りもいいですね。」「良い事を学びました。」等の感想を出していただいた参加者もおられ、ろうそく作りを通して、参加者の交流の輪が広がった一日となりました。

高瀬夜翫

本年度第6夜(10月26日)は松嶋正男氏の「私のバイオリン遍歴」。バイオリンの音色に魅せられて、バイオリンの演奏活動を通して築いた人間関係、そして音楽の楽しさをバイオリンの演奏を交えながら話していただきました。

第7夜(11月16日)は草枕交流館館長の中村青史氏の「近代玉名の文人たち」。明治・大正・昭和初期と日本に名高い文人達が活躍した時代。その中に玉名地方出身の文人も数多く存在し活躍していた、とのお話。故郷玉名地方出身の文人の書籍があれば、一度読んでみたいとの思いが強くなったのは、私だけではなく、今夜の夜翫を聞かれた方全員、その思いであったでしょう。

第8夜(12月14日)は、今村定昭氏の「特許のおはなし」。私たちの生活全てに関わる物には特許権というものがあり、製品化しようとしたら必ず特許を取らなければならないとの事。特許の事について、非常に勉強が出来、認識が深まった夜となりました。

写真で振り返る ～イベント回顧録①～



当時の帳場風景が再現されました。

往時を偲ばせた高瀬展！

平成17年の開館まもなく開催された高瀬展、猿渡家（改修前の高瀬蔵）に残っていた帳場台や鉄製はかりなど博物館へ寄贈された商いの道具約100点が展示され、当時の高瀬商人の様子が垣間見えました。

展示スペースを使ってみませんか？

高瀬蔵エントランスホールの展示スペースをお貸し致します。趣味や活動の発表の場とされてみてはいかがでしょうか？ 展示内容、展示期間等ご相談に応じます。



ボランティアスタッフ募集！

イベント開催時のボランティアスタッフを募集します。ボランティアとして参加したいと思う方は、高瀬蔵までお問合せください。



NPO 法人 高瀬蔵

熊本県玉名市高瀬 155-1 (〒865-0025)

TEL・FAX 0968-72-2480

E-MAIL takasegura@aria.ocn.ne.jp

URL <http://www.tamana-cci.or.jp/NPO/indexf.html>

開館時間 10:00～24:00(イベント開始時間により変更あり)

